



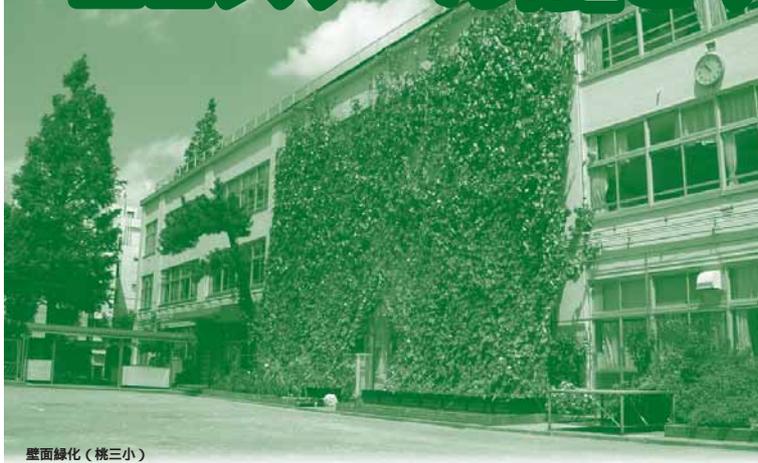
すぎなみ

教育報

第179号
 平成17年12月9日
 発行 杉並区教育委員会
 杉並区阿佐谷南1-15-1
 ☎3312-2111 FAX 5307-0692
 教育委員会ホームページ
<http://www.kyoubiku.city.suginami.tokyo.jp/>
 区公式ホームページ
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

環境に配慮した学校づくり

『エコスクール化』をすすめています



壁面緑化（桃三小）

杉並区では、現在、環境に配慮した「風とみどりの施設づくり」について検討しており、教育委員会ではこれを踏まえ、エコスクール化を進めています。ヒートアイランドの原因となる環境への負荷を軽減し、人工のエネルギーに頼らず、植物や風などの自然の力による涼しい環境をつくるため、学校緑化に取り組んでいます。17年度末までに校庭緑化6校、屋上緑化11校、学校ビオトープ11校、壁面緑化1校を整備する予定です。保護者や地域の方々にも、利用とともに維持管理のボランティアをお願いし、省エネルギーで快適な暮らしを学ぶ地域の環境教育の拠点としての役割も担っています。また、学校施設の改築にあたっては、エコスクールとして建物の構造を含めて環境に配慮した計画を進めていきます。

見た目にも涼しげな壁面緑化

桃井第三小学校

今夏、桃三小で新たに、屋上から垂らしたネットにヘチマ等をからませ、壁面緑化を実施しました。日射をさえぎり、葉陰の涼しい空気を風で取込み体感温度を下げるのが目的で、児童からは「涼しい」、「きれい」との感想が数多く聞かれました。環境問題を身近に感じるようになった5年生はポスターを作製し、近隣の駅や幼稚園、商店街などへ掲示のお願いに出かけました。10月、まちは子どもたちの想いを乗せたポスターで彩られました。

屋上緑化の効果は - 3 !

三谷小学校

三谷小では、16年度に屋上を緑化しました。屋上を芝生や植栽で覆い、日射をさえぎり散水や植物の気化熱により、階下の教室温度の上昇を緩和するものです。緑化されていない教室と天井の温度を比較した結果、緑化した方が約3度低く、効果が実証されました。また、芝生の感触を楽しんでもらおうと、屋上の芝生で給食を食べる試みも始めました。お日さまの中での給食にみんな大喜びです。



屋上の芝生で給食！

キッズISO活動報告会 & 環境カレンダー絵画コンクール表彰式

【キッズISO】

区立小学校の4～6年生が家族のリリーダとなり、家庭内の省エネやゴミ減量に取り組むもので、今年入門編（2週間）に約2,600名、初級編（2ヶ月間）に約600名が挑戦しました。

10月15日に「環境博覧会すぎなみ2005」で行われた活動報告会では、松ノ木小学校4年生3名が入門編、若杉小学校6年生3名が初級編の取り組みを発表しました。いずれも児童たちが家族とともに一生懸命取り組んだ様子が伝わりました。今後も省エネ・ゴミ減量作戦を続けて、環境を守ってほしいと思います。今回の取り組みの成果については、区内の二酸化炭素排出削減量に換算し、教育委員会ホームページ等でお知らせします。



【環境カレンダー絵画コンクール】

環境問題啓発のため、環境に関する絵画を募集し、入賞作品12点を掲載した翌年度の環境カレンダーを作成します。今年区立幼稚園・小・中学校の約900名から力作の応募があり、入賞者12名・入選者15名を決定しました。環境博覧会で入賞・入選作品を展示し、表彰式を行いました。

教育長賞 3名		金賞 3名	
杉並第一小学校 1年	山森 瑠捺	成田西幼稚園 ほし組	吉田 彩華
済美小学校 4年	若林 美月	浜田山小学校 4年	石田 洗菜
富士見丘中学校 1年	鳥越みずほ	泉南中学校 1年	稲葉あや香
銀賞 6名			
杉並第六小学校 3年	河上 晃希	杉並第八小学校 2年	戸塚 京斗
桃井第一小学校 6年	千葉みのり	松庵小学校 5年	原 奈都実
神明中学校 1年	藤井 健太	富士見丘中学校 1年	山田 璃子
入選 15名			

地域の力を子どもたちのために 地域が支える教育活動

学校を舞台にした教育活動の中には、さまざまな形で地域の方々の支援や協力を得て実施しているものがあります。今号では、その中からいくつかの取り組みをご紹介します。

学校と地域の架け橋

学校教育コーディネーター

総合的な学習の時間などで、学校が必要とする講師や協力者を探したり、独自の企画を提案・実践しているのが学校教育コーディネーターです。



原田さんの熱心な演技指導

クラブ活動の充実に貢献（永福小学校）

今年から永福小でコーディネーターとして活動している宮村育代さんは、夏休み前、演劇クラブから「活動を充実させるため、年間を通して本格的な発声や演技指導をしてくれる人はいないか」と相談を受けました。早速、講師探しにとりかかり、知人を通じて劇作家で演出家の原田裕史さんを紹介しました。

原田さんは、子どもたちの意向を取り入れたオリジナル脚本「シンデレラストory」を取り

戻せ！」を作成し、9月から演技指導を開始。顧問の先生も子どもたちの短期間での上達ぶりに驚くとともに、コーディネーターの協力に感謝していました。

10月23日には、杉並区総合文化祭（セシオン杉並）で上演し、今年からできたクラブとは思えないほどの熱演に、会場から大きな拍手が送られました。

宮村さんは、このほかにも、同小の総合学習の福祉教育や国際理解教育のために講師を紹介するなどの取り組みを行っています。

杉並区では現在、11名のコーディネーターが拠点校を中心に活躍中です。今後もより多くの学校を支援できるようコーディネーターの拡充を図っていきます。

今週の土曜日、何をする？

地域がつくる土曜日学校

土曜日の学校を舞台に、子どもたちが地域の中で様々なことに挑戦・体験できる機会を提供しているのが土曜日学校です。現在、小中学校あわせて37校で実施されており、保護者や地域の人々が中心になって運営しています。

豊富な講師陣が魅力です（杉並第二小学校）

杉並小の土曜日学校のプログラムは、実に多彩です。様々な職業の人の話を聞いたり、お笑いグループを作ってコントをしたり、家がどのように建てられていくが見学したり...参加者も平均50名、多い時は100名を越えることもあります。

実行委員会のメンバーは保護者有志5名。月1回の開催にむけ、企画、講

師の手配、参加の呼びかけ、当日の準備等を行います。

講師を引き受けるのは、地域の企業や団体、学生ボランティアなどで、10月に行われた「えいごで話そう」では、オーストラリア人の保護者の方が、昨年に引き続き講師を務めました。

委員長の森川さんは「地域の方が積極的に協力してくださるので、講師探しはあまり苦労しません。準備は大変ですが、講師の方も意欲的に取り組んでくださるし、毎回多くの子供たちが楽しんでくれるので、やりがいがあります」と話しています。



講師の英語に耳をかたむける子どもたち

「おやじ」たちも学校に集結！

杉並紙ヒコーキ王決定戦



高井戸東小学校での様子

「おやじの会」をはじめとして学校を舞台に活躍するお父さんたちが増えています。そんな父親たちの、ゆるやかなネットワークづくりをめざす有志の会「おやじネットワーク杉並」が、この秋、「杉並紙ヒコーキ王決定戦」を開催しました。

これは、子どもたちがお父さんのサポートのもとで作った紙ヒコーキの飛距離を競い、杉並ナンバー1を決めるものです。ネットワーク世話会への呼びかけに応じて、新たにお父さんたちが立ち上がり記録会を行ったり、「土曜日学校」等で紙ヒコーキに取り組んでいるところは、その飛距離データを提供したりしながら始まりました。参加した区立小学校は12校。各会場の記録を集計した結果、栄えある「杉並紙ヒコーキ王」は、個人戦の部：杉並第四小学校5年の佐々木翼くん（22.93m）、団体戦の部：杉並第七小学校（合計151m）と決定しました。

世話会では、父親たちが今回の活動を通して、子どもたちとの交流を深めるとともに、父親同士のつながりや学校と地域の関係がより深まるきっかけになることを期待しています。

学生ボランティアも頑張っています！ 教育活動にたずさわって

早稲田大学人間科学部人間環境科学科 2年 後藤 浩子

学生ボランティアは、教員志望の学生が小中学校の授業に参加させられる活動です。私は昨年9月から高井戸中学校の社会科の授業に参加しています。活動は主に授業の進むスピードに遅れがちな生徒を中心にサポートをすることです。プリントの穴埋め作業などで、教室を回りながらわからないところの質問を受けたりしています。

2年目に入ったボランティアですが、先生方や生徒から学ぶことは大変多く、毎回、毎日が自分の勉強になっています。実際の教育現場に触れることで、教員という仕事を五感で学ぶことができ、とても貴重な経験だと思います。私もつい5年前まで中学生だったので、先生と生徒の間という立場を活かしてこれからも活動していきたいと思っています。



生徒の様子を見てまわる後藤さん

「和田中学校地域本部」が博報賞受賞！

土曜日学校や子どもの居場所づくり、図書室の司書業務支援などのボランティア活動に取り組んでいる和田中学校地域本部が博報賞を受賞しました。博報賞は、次代を担う子どもたちの「豊かな人間性育成」に献身、努力している学校・実践団体等に贈られるものです。学校を取り巻く地域の人々が積極的に関わり活動している功績が高く評価されました。これからも様々な教育活動をサポートしていきます。

子どもたちの体力向上をめざして

子どもたちの体力は、文部科学省新体力テストによると、1985年をピークに年々低下しており、肥満傾向に伴う高血圧、糖尿病等の成人病の低年齢化が進んでいます。こうした状況をふまえ、教育委員会では、児童・生徒の体力向上を重点課題として捉え、様々な取り組みを行っています。

体力向上のあり方研修会

小・中学校の教員を対象に指導力向上のため、「体力向上のあり方研修会」を実施しています。第1回は、7月14日、桃井第五小にて「Gボール」「フラッグフットボール」「リズムダンス」を、第2回は、10月7日、東田小にて「マット運動」の実技研修を行いました。「子どもたちが楽しく運動できるようにするためにはどう指導したらよいか」実際に運動してみることににより、子どもたちの視点での研修も行いました。



第1回「バレーボール」



第1回「サッカー」



Gボールを使った実技研修

体力づくり教室大盛況！

体力向上調査委員会（委員長：東田小学校内田校長）では、子どもたちが運動に親しむきっかけを作るため、昨年度から小学生を対象とした「体力づくり教室」を開催しています。

今年度は、第1回を8月27日、杉十小にて、第2回を10月7日、東田小にて開催しました。第1回は、NPO法人早稲田クラブ等の協力により、区内全域から75名の児童が参加し、サッカー、バレーボールの2種目で思いきり体を動かしました。第2回は、東田小の児童が、塚原体操教室の先生から、マット運動に関する基礎的な運動指導を受けました。最後に、先生による模範演技を見た子どもたちは、「どうしたら先生のようなすごい技ができるようになりますか」「体を柔らかくするにはどうしたらよいですか」など意欲的に質問をしていました。



第2回「マット運動」

17年度 杉並区立小中学校体力調査結果ができました（詳細は区公式ホームページ掲載予定）

小学生の結果について

小学生の体力調査の結果は、全体的に昨年度より上昇しました。学年別に上昇率を比較すると4年生が高く、6年生は低くなっています。また、東京都の平均値と比較すると「立ち幅跳び」（瞬発力）は、全学年男女とも平均値を上回っていますが、「反復横跳び」（敏捷性）、「長座体前屈」（柔軟性）、「20mシャトルラン」（持久力）が多くの学年で平均値を下回っています。

中学生の結果について

中学生の体力調査の結果は、2・3年生の平均値は昨年度とほぼ同じですが、1年生は昨年度の平均値を下回る種目が多くなっています。種目別に見ると「反復横跳び」（敏捷性）は、全学年男女とも昨年度の平均値を大きく上回っています。また、東京都の平均値と比較すると全学年の「長座体前屈」（柔軟性）は、平均値を上回っていますが、「持久走」（持久力）は下回っています。

各学校では、16・17年度の体力調査の結果をふまえ、体育（保健体育）の授業改善、学校の教育活動全体を通した体力向上の推進、保護者・地域との連携等の視点から体力向上推進プランを作成し、児童・生徒の体力向上をめざします。

文部科学省新体力テスト 杉並区立小学校データ（抜粋）

体力テスト項目		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)
男子	3年	12.94	14.80	28.85	29.92	29.56	10.31	136.66	16.25
	4年	14.73	17.15	30.46	36.83	36.72	9.80	145.82	20.38
	5年	17.09	18.93	32.70	38.68	43.66	9.37	156.15	23.96
女子	3年	12.06	13.74	31.03	28.23	21.53	10.61	125.41	9.16
	4年	14.00	15.55	33.88	34.49	28.04	10.01	136.69	11.28
	5年	16.51	17.23	36.37	36.37	33.37	9.53	147.76	13.48
6年	19.34	18.06	38.62	39.18	39.17	9.28	154.28	15.17	

色文字は東京都平均値を上回っているもの

文部科学省新体力テスト 杉並区立中学校データ（抜粋）

体力テスト項目		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	持久走 (分秒)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)
男子	1年	23.03	22.59	38.85	45.68	7'26"	8.73	173.25	18.07
	2年	29.50	25.62	41.95	47.77	6'50"	8.09	191.74	21.07
	3年	33.93	27.66	45.40	50.23	6'35"	7.70	204.88	23.64
女子	1年	21.18	18.33	40.95	40.49	5'10"	9.13	157.04	11.66
	2年	23.33	20.99	43.90	42.51	5'09"	8.94	162.52	13.04
	3年	24.54	21.40	46.44	43.30	5'03"	8.80	167.78	13.94

色文字は東京都平均値を上回っているもの

生徒一人ひとりの学力向上を支援する

「せいび学習室」「なでしこ学習室」

大宮中学校

大宮中では、生徒の学力と学習への意欲を高めるために、16年12月から放課後学習支援室「せいび学習室」と「なでしこ学習室」を開設しています。

「せいび学習室」は、勉強でわからないところを教えてほしい生徒や、集中して勉強したい生徒が自主的に利用する学習室です。地域の人たちによって月～金曜日まで毎日運営されており、大学生などの学生サポーターが常駐して、生徒からの学習相談に対応しています。また、他の生徒の邪魔にならない程度の小声でなら、生徒同士で助けあうこともできます。ここを利用することで、自ら学ぶ習慣と学習意欲の向上を図っています。

一方「なでしこ学習室」は、小学校時代からのつまずきがある生徒など、

自立的な学習が難しい生徒に基礎学力が身につくよう、担当の教員が毎週金曜日に指導する学習室です。生徒によって学習のつまずきは異なり、思春期の難しい時期でもあるので、指導経験が豊かな教員等が、学級担任や教科担任と生徒の間に入ってサポートしています。

どちらの学習室も登録制で、現在、「せいび学習室」は50名、「なでしこ学習室」は10名程度の生徒が登録・利用しています。一人ひとりの能力と可能性が伸びるよう、2つの学習室の連携も視野に入れ、学習支援体制の充実を図っていきます。



科学館にて「サイエンス・ウィーク（冬の一般公開）」を開催します

開催期間：12月26日（月）27日（火）1月5日（木）6日（金）

プログラム：科学ビデオの上映、プラネタリウム「とんとんのゆめ」他の放映、科学実験教室「ゆらゆらUFO」等を行います。

費用は無料です。みなさんのご来場をお待ちしています。問い合わせ：科学館（清水3-3-13） ☎3396-4391

「こんな先生だったらいいな！」

中学生が「理想の先生」について提言!!



「夢の学校プロジェクト」は、講師とやり取りをするなかで、子どもたちの自ら考える力を引き出すとともに、学校や学年を越えた地域の仲間づくりや地域づくりへの子どもの参画も視野に入れ、昨年度から開催しています。

杉並区では、今年度教師養成塾「杉並師範館」を創設し、全国の区市町村で初めて、独自に教師を育て、平成19年4月には区独自に教員を採用します。



そこで今回は、テーマに「理想の先生」を掲げました。参加者は、区立中学校に通う2、3年生計17人です。

9月23、24日に秋川荘で合宿を行い、食事づくりや討論などで交流を深める一方、杉並師範館の田宮謙次塾長、現役の若手の先生などを講師に迎え、自由に意

見を交わしながら「理想の先生」について考えました。特別講座として女優の涼風真世さんを迎え、第一線で活躍する姿勢、努力について学ぶとともに、アニメのアフレコ体験にチャレンジしました。

合宿後も保護者などへ自主的にアンケートを行うなど様々な工夫を凝らし、10月1日に4つのグループごとに討議してきたことをまとめて、理想の先生像を発表しました。「わたしたちを愛して下さい」「自分を育ててくれる人」「生徒と共に」「1人ひとりをわかってくれる」などタイトルや表現は様々ですが、授業や学校生活を通して、先生にどう生徒と向き合ってほしいと考えているかが伝わってきます。

参加した生徒は、「他校の生徒と友達になれて良かった」「自分を見つめ直すいい機会になった」「若いうちに人生の幅を広げられた」と話していました。

この提言は、今後の教師養成、研修に反映させるとともに教師に伝えることで教師自らの研鑽に繋げていきます。



学校産の赤米で地域の方々をおもてなし 馬橋小学校

赤米は日本の米のルーツだと言われており、栄養価の高い赤いお米です。馬橋小では、その赤米を毎年5年生が育て、給食に混ぜて全校で食べています。田植えから水の管理、稲刈り、精米...。今年は、天候にも恵まれ、豊作となりました。

11月18日には、学校評議員の方々やまちのお米屋さんなどを招待し、赤米給食会を開催。「僕たちが一生懸命作ったお米を食べてください」と5年生から挨拶があると、「食べやすくおいしい」と参加者の評判も上々。和智校長は「自分で育てたお米を食べるのがもったいないという児童の声も聞きます。情緒面の成長にも役立っているようです」と報告して会を締めくくりました。

徳育の取り組みについてご紹介します

区では、子どもたちの豊かな人間性と規範意識、公共心をはぐくむため、徳育を推進しています。また各小中学校では、道徳の時間を中心に、教育活動全体を通して道徳教育を行っています。様々な教材を活用するほか、地域の方々にもご参加いただける道徳授業地区公開講座を開催しています。

「差別と戦いながら」～ハンセン病について考える 松溪中学校

松溪中の道徳授業地区公開講座では、11月5日(土)元ハンセン病患者の平野さんと山内さんをお招きし、「差別と戦いながら」をテーマに講演会を開催しました。会場となった体育館には、全校生徒のほか地域の参加者も詰めかけ、壮絶な体験談に耳を傾けました。

山内さんは言います。「病気がわかった時、周りからは『家族が差別されないために、親からもらった名前は捨てなさい(偽名を使いなさい)』『子孫を残さないために子どもは産んではいけない』などと言われ、隔離された施設の中で何十年も暮らしてきました。隔離する必要がないと判明した後もです。この気持ちがわかりますか?皆さんは是非、人権侵害を許さない社会を作っていくてください。」メモを取って聞いていた生徒は「つらい経験を私たちに伝えてくださったことを受け止めていきたい」と感想を話しました。

すぎなみしあわせ文庫「ココロママ」を小中学校に配布しました



えくさく 中山 深森 つじにぬき

子どもたちに伝えたい大切なこと。自分の生命の輝き、人間として生まれてきたことの素晴らしさ、ひとに感謝し、ひとを思いやることの大切さ...。「ココロママ」は区がこのようなことを伝えたいという思いでつくった本です。小中学校に各45冊配布しました。3月3日にはセッション杉並にて朗読セラピー-Suimmy(スイミー)による朗読会を開催します。(4時半開場、5時開演 入場無料)皆様、お誘いあわせのうえお越しください。

「ココロママ」についての 問合せ先: 児童課子ども青少年係

子どもたちに読書の楽しさを 方南図書館がオープン!

11月3日、一般図書のほか、児童図書を充実させた方南図書館(方南1-51-2)がオープンしました。小さなお子様連れも大歓迎です。皆様のご利用をお待ちしています。

開館時間 月～土曜日 午前9時～午後8時
日曜日・祝日 午前9時～午後5時
休館日 第1月曜日 第3木曜日
年末年始 特別整理期間
問合せ先 方南図書館 ☎5355-7100

教育委員会の動き

17年9月～17年11月

【教育委員会開催状況】

定例会 4回
臨時会 2回
議案 15件
報告事項 12件

【主な案件】

は審議、 は報告事項

「杉並区教育ビジョン推進計画(素案)」について
杉並区立井草社会教育会館の廃止について
杉並区体育施設等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
杉並師範館の設立等について
学校希望制度の申請状況
平成18年度の区立幼稚園児(新4才児)定期募集結果
平成17年度児童・生徒の学力調査及び意識・実態調査の実施について
平成17年度杉並区体力等調査結果の概要について

「地域教育フォーラム2006」を開催します 教育支援活動の広がりやを促すため、地域で行われている様々な教育への取り組みの紹介や意見交換などを行います。 中学校職場体験学習の趣旨を広くお知らせするとともに理解と協力を広げるため、パネルディスカッションや成果の発表会などを行います。 日時:平成18年2月10日(金)午前10時～午後5時 会場:セッション杉並 問い合わせ: 庶務課、指導室



古紙配合率100%再生紙を使用しています。